

外科 マンスリーレター 2017.10

日頃より大変お世話になりありがとうございます。
外科診療部長の光吉明（S. 61卒）と申します。

今回より毎月、「外科マンスリーレター」として先生方に市立大津市民病院外科からお届けしたいと思います。当科の詳細な治療内容や診療状況等については「**地域医療連携ガイドブック**」（下図）や当院ホームページに記載されていますので、こちらでは当科の日常診療におけるトピックスや先生方へのメッセージなど、ソフトでホットな話題を提供させていただく予定です。

本年度より当院は**地方独立行政法人化**いたしました。今後はより柔軟に、小回りのきく診療体制を築くと共に、「顔の見える」信頼関係を持ちたいと思っています。

というわけで、第1便となる今回は当科の各メンバーの簡単なご紹介をさせていただこうかと思えます。



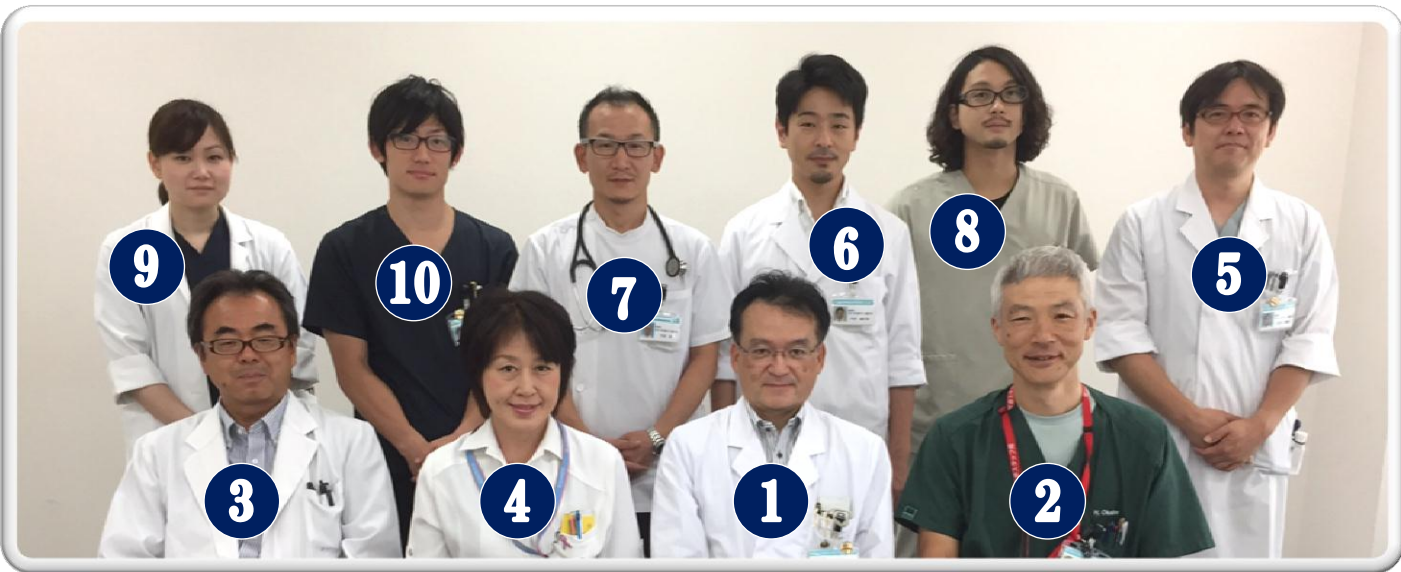
「地域医療連携ガイドブック」って？

先生方に、左のような「地域医療連携ガイドブック」をお渡ししております。

外科はP42に掲載されております。手術実績や特徴、強みなどをご紹介しますので、ぜひご覧ください。

なお、お持ちでない場合は地域医療連携室（TEL：077-526-8192）までご一報いただけましたら、ご郵送いたします。

- ① 私、外科・消化器外科・乳腺外科診療部長の光吉明です。大津日赤から異動しまして早5年が経過しました。肝癌や膵癌など、肝胆膵領域疾患の手術を執刀、指導しています。
- ② 診療部長（消化器部門）の岡部寛（H. 4卒）です。2年前まで京都大学 准教授として活躍、胃癌手術およびロボット手術のスペシャリストであり、当科の鏡視下胃癌・食道癌手術の執刀、指導を行っています。
- ③ 診療部長（乳腺部門）の橘強（H. 8卒）です。乳腺領域のチームリーダーであると共に、腹腔鏡下ヘルニア手術、肛門疾患を担当しています。
- ④ 外科医長・健診センター診療部長の洲崎聡（S. 63卒）です。外科医の中では当院最古参（勤続19年）で、乳腺領域全般の診療と健診・検診業務を行っています。
- ⑤ 外科医長の大江秀典（H. 13卒）です。昨年京都大学肝胆膵・移植外科より赴任しました。肝胆膵疾患を中心に診療しています。
- ⑥ 外科医長の平井健次郎（H. 15卒）です。昨年京都大学消化管外科より赴任しました。大腸癌を中心として執刀、指導を行っております。
- ⑦ 外科医長の平田渉（H. 17卒）です。昨年彦根市立病院より赴任しました。
- ⑧ 桃野鉄平です。卒業はH. 21ですが、外科医としては3年目の専攻医です。当初は内科研修をしていた異色の人材です。
- ⑨ 専攻医3年目の岡部あさみ（H. 25卒）です。将来は小児外科医を目指しています。
- ⑩ 専攻医2年目の藤田覇留久（H. 26卒）です。初期研修から当院で頑張っている生え抜きです。



以上、簡単に当科メンバーの紹介をさせていただきました。
今後ともよろしくお願いたします。